1．科目名（単位数）	経営組織論　（2 単位）	3．科目番号	SBMP3114
2．授業担当教員	中野　隆之		
4．授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション（学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等）を伴ったものにする。	5．開講学期	秋期
6．履修条件・他科目との関係	すでに履修した福祉と経営Ⅰ、Ⅱ、社会福祉経営論、医療経営論の講義内容のうち、「どのようにすれば大勢の人を動かすことができるか」、「組織は社会活動のための重要な手段」というトピックをさらに深堀りした授業であり、復習も兼ねて受講してほしい。		
7．講義概要	企業・学校・病院など、多数の人間から構成される組織を運営するためには、これらの組織を合理的、効率的な「一つの組織」として運営する必要がある。経営組織論は、社会の基礎的構成要素としての組織を対象として、その行動やメカニズムの解明を基礎的課題とした学問領域である。 私たちは常に組織との相互作用の中にあり、そして取り巻く組織は常に変化しながら、行動の制約や発展・成長を私たちに与えたり、逆に私たちがより良い組織や機能を提供したりしている。この講義では、この組織の機能に着目して、組織論的課題解決手法を探索する。そして、効率的に運営される組織とは何かという観点から課題を提起し、ディスカッションを通じて課題解決に取り組む。 この講義は、科目の性質上、経営管理論や経営戦略論等の関連科目の基礎的知識も必要となる応用科目となるので、これまで学習してきた経営学に関する知識をしっかり復習しておくことが必要である。また、必要に応じて、適宜解説を加える。		
8．学習目標	1．経営組織論を構成する理論の概要と具体的事例の内容を理解し、説明することができる。 2．経営組織を取り巻く経営環境を理解し、その環境への適合方法及び戦略を考察し、立案できるようになる。 3．経営戦略を実行するのに最適な経営組織のあり方を提起し、戦略的思考を理解し、説明することができる。		
9．アサイメント（宿題）及びレポート課題	講義中、適宜指示する。		
10．教科書・参考書・教材	【教科書】鈴木龍太著　『はじめての経営学　経営組織論』東洋経済新報社、2018. 【参考書】講義中、適宜紹介する		
11．成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1．企業の経営を実践と理論の両面から、平易な資料を用意して授業を進めたため、組織の基本的仕組は理解できたか。 2．企業だけでなく学校、病院などの多くの人間から構成組織を運営するための、社会で要求される組織経営の基礎的な考え方を身に付け、留学生にとっても日本と母国を含めたグローバルな視点で組織のあり方を考えるような力が付いたか。 3．企業の経営組織の理解だけでなく、病院や公共施設などの組織及び組織運営の違いを理解できるようになったか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、課題レポート、期末試験等を総合して評価する。 1　授業への積極的参加　　総合点の３０％ 2　課題レポート　　総合点の３０％ 3　期末試験　　総合点の４０％		
12．受講生へのメッセージ	1．卒業後、福祉、医療そのほか様々なサービス業務でチームリーダー理職に携わる際に役立つ有効なセンスを磨く、という意気込みで講義や演習に臨んでほしい。 2．授業中、積極的に自分の考えを持ち発言すること。講義を単に学課を学ぶ場としてではなく、自分の考えをまとめ、発言する、文書化する、といった今後の学生生活や社会生活に必要なトレーニングの場と考えること。		
13．オフィスアワー			

14．授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第１回	イントロダクション、組織論とはどのような学問か 組織論の目的、組織とは何か、組織の境界など	事前学習	テキスト pp. 1～21 を読み概要を知る。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理する。 福祉サービス活動における組織運営の重要性を自分なりに理解できるようにする。 授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第２回	組織を動かす基本設計 組織は何のために作られるのか、組織における分業・調整	事前学習	テキスト pp. 23～48 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第３回	組織を動かすメカニズム 官僚制、人間関係論、組織活動を動かすメカニズムなど	事前学習	テキスト pp. 49～72 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第４回	効率的に目標を達成する―組織の構造 部門化、権限と責任、組織の形態	事前学習	テキスト pp. 73～97 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかにつ

			いて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第５回	これまでの振り返り 第１回から４回までの講義の確認と演習	事前学習	第１回から４回までの間に配布した資料を再度読み、知識を整理する。またここまで未消化であった事項を整理しておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第６回	個人に能力を発揮してもらう モチベーションとリーダーシップ 人の動機付け、リーダーの行動	事前学習	テキスト pp. 99～123 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第７回	ベクトルを揃える 組織文化	事前学習	テキスト pp. 125～146 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第８回	よりよい意思決定をおこなう 最適化による意思決定、満足化による意思決定、グループダイナミクスほか	事前学習	テキスト pp. 147～169 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第９回	環境と折り合う オープンシステム、コンティンジェンシー理論など	事前学習	テキスト pp. 171～195 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第１０回	個人の成長を促す キャリアとは何か、キャリアの発達論など	事前学習	テキスト pp. 197～219 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第１１回	これまでの振り返り 第６回から 10 回までの講義の確認と演習	事前学習	第 6 回から 10 回までの間に配布した資料を再度読み、知識を整理する。またここまで未消化であった事項を整理しておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第１２回	新たなことを学ぶ 個人の学習、組織学習など	事前学習	テキスト pp. 221～244 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第１３回	外の力を活かす 資源依存パースペクティブ、ネットワーク論	事前学習	テキスト pp. 245～266 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第１４回	組織を変える 組織のライフサイクル、組織変革	事前学習	テキスト pp. 267～289 を読み概要を知る。授業で予定されているトピックのいくつかについて自分なりに問題意識を持っておく。
		事後学習	授業の中で出た議論や疑問点を整理し、自分の考えをまとめ、説明できるようにする。
第１５回	これまでの振り返り　本講義のまとめ 第 12 回から１４回までの講義の確認と演習 本講義の総まとめ	事前学習	第 12 回から 14 回までの間に配布した資料を再度読み、知識を整理する。 本講義のなかで未消化であった事項を整理しておく。
		事後学習	福祉サービス活動における組織運営の重要性に関し自分なりの知見を持ち、他人に説明できるか振り返る。
期末試験			